

■2020年 高大接続改革！(その7)

～大学入学者選抜改革の概要(プレテスト英語の内容と結果について)～

全国の高校にて2018年2月に、大学入学共通テストの試行調査としてのプレテスト英語(筆記+リスニング)が実施されました。英語のプレテスト実施は今回初めて。先日その結果・分析が発表されました。今回はこの「英語プレテスト結果」から見られる、今後の「英語の共通テスト」についてお話したいと思います。

今回のプレテストでは、現在のセンター試験の前半部分で見られたアクセントや発音問題、慣用句や文法の知識が必要な並べ替えの問題が無くなっていました。結果として、読解力の測定に特化したものになっており、単語数がセンター試験時の約4300語から2割強増えた、約5200語になり、また設問文はすべて英語でした。

設問レベルは、CEFR(言語能力を表す指標、国際標準規格)のA1(英検の3～5級レベル)～B1(英検の2級レベル)で作成されています。内容は、センター試験のような本文と選択肢の内容を照合させる問題だけでなく、新聞やウェブサイトなどのグラフを題材にして、他教科同様に実生活から問題点を見つけだし、解決できる実践力が試されています。色々な意見を分析・分類する力や、英文の構成の把握する力や、趣旨を把握・咀嚼をして要点をまとめる力が求められております。筆記試験の各問題の正答率は93.1%～6.2%でした。

リスニングに関しては、センター試験と同様に音声は2回流れる『バージョンA(小問20問)』と、1回と2回の混合の『バージョンB(小問30問)』で実施されております。問題レベルは筆記試験とほぼ同じですが、バージョンBのほうが、単語量が500語程度多く、その分難易度も高くなってあります。リスニング内容は、対話や議論を聞かせる問題などが出題されており、主たる情報を把握し、要点を整理して判断する力が求められてあります。リスニングの各問題の正答率は92.5%～3.2%でした。

今回のプレテスト内容が大学入学共通テスト本番にそのまま受け継がれるのではなく、プレテストの解答状況の分析を踏まえて検討されるということなので、今後さらに内容を見ていく必要があります。



2018年6・7月合併
編集:英智学館 教務情報課
電話 0120(710)981
HP <http://eichikan.co.jp/>

■教室・教室長紹介 ～ 第5回 本荘校 ～

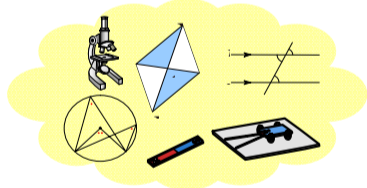


本荘校 阿部洋平 教室長

今回の「英智学館の教室長 & 教室紹介」は、秋田県の南西部、日本海に面した由利本荘市にある「本荘校」です。英智学館の教室の中でも初期の時代から場所も変わらずにある校舎です。そんな教室を取りまとめる、教室長の阿部洋平先生と教室について今回紹介していきます。

◎勤続年数は何年ですか？また、現在教鞭を取っている教科・担当している学年も教えて下さい。

—5年になります。教科については数学・理科を中心に担当しています。



◎座右の銘は？—『好きこそ物の上手なれ』。

何事もやる気やモチベーションの源になるのは「好き」という気持ちだと思います。もちろん楽しいことばかりではなく、日常では辛いことや苦しいこともあります。そういう中でも「好き」と思える部分を見つけて物事に取り組みことを心がけています。



教室隣には、大きなスーパーがあり、夜も明るく、治安も良く送迎にとっても便利!!

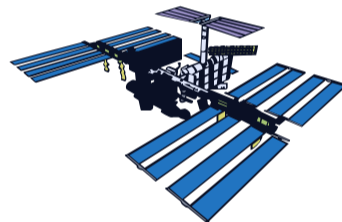
◎趣味や最近ハマっている事は何ですか？また、どうしてそれが好きですか

—スポーツ観戦、特にNFL(アメリカのアメフトリーグ)の観戦です。単純な運動能力もすごいですが、戦術的な部分が他のスポーツ以上に重要なので見応えがあります。特に司令塔と呼ばれるQB(クォーターバック)というポジションには、身体能力・知識・冷静さ・向上心など全ての能力が高い水準で揃っている選手ばかりなので「同じ人類なのか!？」と疑いたくなります。最近は悪い意味でよく目にするスポーツ名になってしまっていますが、TV観戦に向いている面白いスポーツなので興味のある方はぜひ調べてみてください。



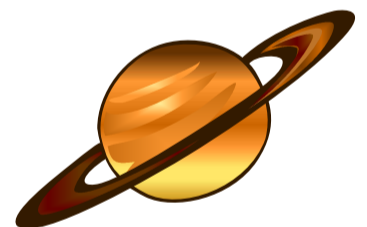
◎今まで読んだ本・映画で、自分の心を動かしたものはありますか？また、どのようなところに感銘を受けましたか？

—アンディ・ウィアー著『火星の人』です。



「火星に一人だけ取り残される・・・」という絶望的な状況にも関わらず、主人公がとにかく前向きでポジティブ!「今できることは何か!」を常に考え、科学知識を使って生き残る術を考えていく姿勢がクール。(酸素

と水素から水を作るなど)理科をしっかり勉強しておけば火星に取り残されても生き残れるかも・・・マッド・デモン主演で映画化もされています。映画名は『オデッセイ』。こちらもおすすめです。



◎最後に、塾生に「これだけは伝えたい」と言うことがあれば、教えてください。



自習スペース、ゼミスペースも完備!!テスト期間中は11台とゼミの座席は自習で満員!

—学校行事、部活、クラブ活動、習い事・・・日々忙しい生活をおられるお子さんも多いと思います。その忙しい中でこそ、限られた時間を有効に活用していきましょう。「疲れた・・・」、「ちょっと気が乗らない」などできない理由はすぐに思いつきますが、そういう時でこそ、継続して続けることが勉強

だけに限らず、今後の人生においても色々な場面で重要なことだと思います。特に受験生の生徒さんはこの夏がまず一つの山場だと思います。先生達も全力でサポートして行くので一緒に頑張ってください!



皆さん授業がんばってますね!!

今回は阿部先生にたくさんお話していただきました。普段はやさしく塾生達に接している阿部先生!そんな先生の中にも、やさしさにプラスして、子どもたちに向けた「熱く燃えてたぎる魂」がうかがえました。

今月の格言・金言 「What is not started today is never finished tomorrow.」 ～ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ～

ドイツの有名な文豪ゲーテの言葉です。日本語では『今日はじめなければ、明日には終わらない』という意味になります。当たり前ですが、何事も始めなければ結果も変化も生み出すことはできません。勉強を頑張ろうと思っても「明日から・・・」ってなる事ありますよね。そんな事を繰り返していると結局「言い訳の仕方」だけうまくなってしまいます。だからこそ、そういう気持ちをおさえ、やる気を奮い立たせて『今日から!!』『今この瞬間から!!』頑張ってみてはいかがでしょうか。